

2025 年 6 月 野間漁協全面協力！夜の野間川で天然ウナギを釣るツアー episode②

「あれからだいぶ水位が下がっていますけど（担当者）」、「こりゃ、別の場所を探さなあかな（漁協組合長）」と、宇川の下流域にウナギの寝床探しの旅へ。悲壮感漂うおじさん達に、地元の方々も心配していろいろ情報提供してくれました。地域を巻き込んだ大作戦、はたして天然ウナギと巡り合うことはできたんでしょうか？ それにしてもこの日照り、いつまで続くんでしょうね・・・。



名人に仕掛けづくりを教わって



戦闘態勢完了し、ウナギが動き出す日暮れを待つ。川を知り尽くした名人は余裕の表情。隣の竿がこの後、折れそうなくらいしなることはまだ誰も知らない。



太ったウナギは白焼きに、餌のアユは塩焼きに、釣れたモクズガニは味噌汁に。



重すぎてリール巻けないわ、草にウナギが引っかかるわ、タモは流されるわ、総出の捕物劇を動画で見せたい！



今回は、夜釣り以外に「置き仕掛け」も設置。ミズではすぐにウグイに食われるので、餌持ちの良い鮎に切り替えてウナギの寝床付近に投入。



ウナギ捌きは、「自然の達人」への最終試練。でも 2 kg の巨大ウナギはさすがに手ごわすぎました。名人曰く「アユは秘伝タレの出汁」に使うそう。

参加者アンケートより ○大人も子供も本気で遊ぶ体験は尊いと思った。京丹後のポテンシャルの高さにびっくり。○人の繋がり大切さを感じた。2日間最後まで楽しかった。

スタッフの独り言 バラさずに捕り込めたのは奇跡です。「2 kg」は漁協の中でも評判になり、「場所はどこだ？」と色めきだっていました。初めて会った者同士が家族のように一丸となって遊ぶ。地元区長さんは夜通し公民館のトイレを準備してくださる。名人が教える様子はまるで孫相手のよう。釣果以上に温かい気持ちになったツアーでした。